

マーケットの動き (2022年3月22日～3月25日)

先週の国内株式市場は、前週末比で上昇しました。

FRB（米国連邦準備制度理事会）議長による利上げ加速に前向きな発言を受けて円安が進展したほか、米国景気に対する強気な見方がやや優勢となったことで、投資家のリスク選好姿勢が強まりました。日経平均株価は25日まで9日連続の上昇となり、2万8000円台を回復して週を終えました。

投資環境見通し (2022年3月)

国内株式相場は割安感がみられるも、方向感はいにくい

10～12月期の企業業績は堅調で、先行きについても中国景気の底入れに加え、新型コロナウイルスの国内感染拡大が一服すれば、拡大基調は鈍化しながらも維持できるとみえています。一方、株価水準については、米国や欧州に比べ割安感がみられる一方、これらの地域の金融政策正常化のペースに対する投資家の見方はまだ分かれていています。当面の国内株式相場は海外市場の相場動向に影響を受けやすく、変動率の高い状況が続くとみられ、米国や欧州の金融政策に加えてウクライナ情勢を巡る先行き不透明感が残り、方向感はいにくいとみえています。

	3月25日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	1,981.47	3.78%	5.61%	▲5.09%	1.33%
日経平均株価	28,149.84	4.93%	6.32%	▲6.91%	▲2.02%

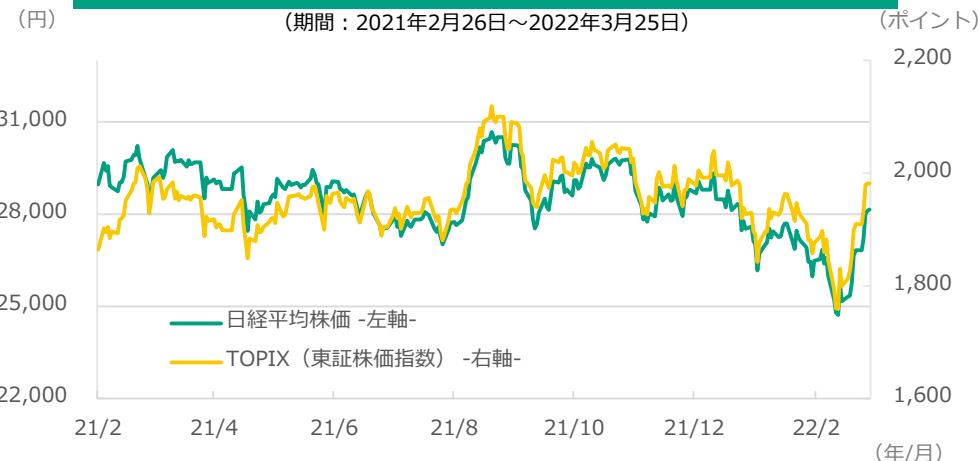
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

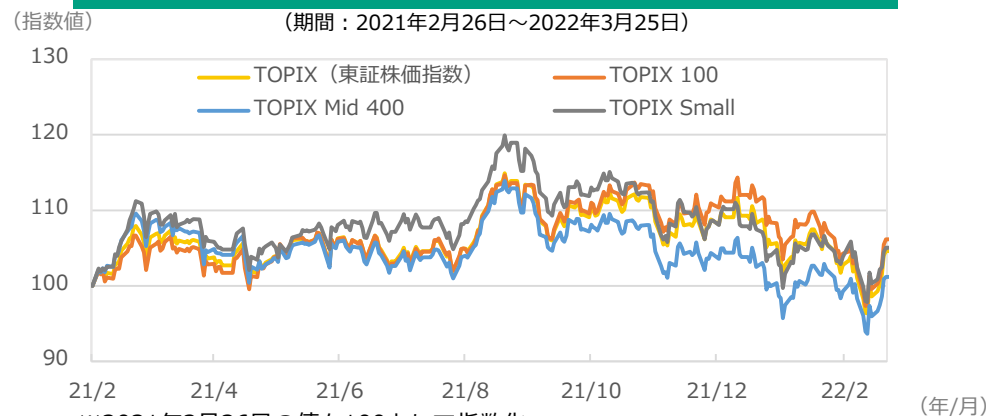
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202203_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目録見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2021年2月26日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成